

★体育指導のポイント★

集合に適した場所について②

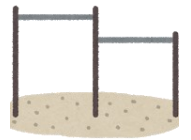
子どもが落ち着いて集合することで、体育授業の効果があがるとともに、安全確保・事故防止にもつながります。

◆毎回、集合場所が変わっていませんか？

授業開始時の集合場所はできれば固定しましょう。子どもたちが落ち着いて集合できます。「体育館ではステージ前、運動場では体育倉庫の前」等、わかりやすく好条件な場所が良いでしょう。集合場所を固定することでスムーズに授業が開始され、教師も子どもたちも気持ちよい環境づくりができます。

◆種目によって適切な場所を設定していますか？

例えば鉄棒の授業の際には、毎回の集合場所にこだわる必要はありません。当然、「鉄棒の前に集合」となるでしょう。そんな時にはひと工夫を。ホワイトボードやコーン等、目印になるものを置いておけば子どもたちも迷いません。

◆個人の荷物を置く場所がバラバラではありませんか？

子どもたちの筆記用具、体育ノート、水筒等は、置き場所を指定すると混乱しません。体育館では壁に沿って出席番号シールを貼ったり、運動場ではテント内のテーブル上に置いたりするなど、子どもが自分で持ち物を管理できるようになり置き忘れも防ぐことができます。個人の荷物を踏んで破損したり、転んでケガしたりすることも防止できます。

◆先生は子どもたちより「先に」活動場所にいますか？

活動場所に一番乗りして、子どもたちを出迎える気持ちで待ちましょう！「早く集合できたね」「今日も楽しく体育しようね」など何気ない授業前の会話が、子どもたちの「やる気スイッチ」をONにすることでしょう。

